

科目名称	母性看護学方法論Ⅱ (周産期にある母子と家族への看護)	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	30
担当教員	城内 真理	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (助産師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

分娩期・産褥期にある母性と新生児の特徴について理解し、その看護ができる基礎的知識・技術を習得する。

【2】 学習目標

1. 分娩期・産褥期にある母性の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。
2. 分娩期が正常に経過し、産婦が安楽で主体的なお産ができるための分娩期の看護について説明できる。
3. 産褥期が正常に経過し、産婦が母親役割を獲得できるための産褥期の看護について説明できる。
4. ハイリスク因子を持つ母児に対する看護実践に必要な基礎的知識について説明できる。
5. 新生児が子宮外生活に適応できるための看護について説明できる。
6. 新生児看護に必要な基礎的看護技術を、安全と愛護を意識して行うことができる。
7. 分娩期・産褥期・新生児期の看護過程を展開し、対象に必要な看護を計画できる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	分娩期における看護	講義
2	分娩期における看護の実際	講義
3	分娩時の異常と看護	講義
4	分娩期の看護過程	講義・グループワーク
5	産褥期の看護	講義
6	産褥期における看護の実際	講義
7	産褥期の健康問題に対する看護	講義
8	産褥期の看護過程	講義・グループワーク
9	新生児の看護	講義
10	新生児の看護の実際	演習
11	ハイリスク児の看護	講義
12	新生児の看護過程	講義・グループワーク
13	県立中央病院での母乳育児支援	講義
14	県立中央病院での周産期管理	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験(80%)、授業・演習態度・提出物(20%)などで総合的に評価する。

【6】 教科書

森恵美:系統看護学講座 専門分野 母性看護学(2) 母性看護学各論 (第14版) 医学書院 2025 (電子版)

【7】 参考書

- 1) 大平光子他編：母性看護学Ⅱ，マタニティサイクル，改訂第3版，南江堂，2022
- 2) 小林康江他編：ナーシング・グラフィカ母性看護学②，母性看護の実践，第3版，メディカ出版，2024
- 3) 荒木奈緒他編：ナーシング・グラフィカ母性看護学③，母性看護技術，第5版，メディカ出版，2022
- 4) 北川眞理子他編：看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術，第3版，メヂカルフレンド社，2022
- 5) 渡邊浩子他編：マタニティサイクルにおける母子の健康と看護，第7版，メヂカルフレンド社，2022
- 6) 医療情報科学研究所編集：病気がみえる vol.10 産科第4版，メディックメディア，2021
- 7) 平澤美恵子他監修：母性看護技術アドバンス，初版，インターメディカ，2020
- 8) 佐世正勝他編集：ウェルネスからみた母性看護過程，第3版，医学書院，2021
- 9) 太田操編著：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程，第3版，医歯薬出版株式会社，2017
- 10) 石村由利子：根拠と事故防止からみた母性看護技術，第3版，医学書院，2020

【8】 受講生へのメッセージ